

川口市立仲町小学校 令和4年度 1学期始業式 式辞

4月8日（金）

みなさん、おはようございます。

2年生から6年生のみなさん、進級おめでとうございます。学年が1つずつあがり、クラスも新しくなりました。

今日は、このあと88名の新1年生が入学してきます。

1年生から6年生まで、506名のお友達と、42名の先生方・職員で令和4年度がスタートします。

新年度を迎え、きっと新しい気持ちで今日を迎えているのだろうなあ、ということ、今朝のみなさんが登校する姿から、感じました。

おとといは、新6年生のみなさんが登校し、新1年生のために、入学式の準備をしてくれたり、みんなが気持ちよく新学期を迎えられるように掃除をしてくれたり、学校のために一生懸命色々な仕事をしてくれました。

6年生は、すでに最高学年としての自覚が感じられて、とても、感心しました。2年生から5年生のみなさんも、どのような姿を見せてくれるのかなと、今から楽しみにしています。

さて、新年度のスタートにあたり、「楽しい」ということについてお話をします。

先生は、世の中には、2種類の「楽しい」があるのではないかと考えています。

一つは、テレビを見たり、ゲームをしたり、遊園地で遊んだり、おやつを食べたり・・・それだけで「楽しい」と感じることです。

二つ目は、勉強やスポーツ、習い事などもそうかもしれません。練習をして、失敗して、努力をしてできるようになって、ようやく感じる「楽しさ」です。これまでに、この「楽しさ」を味わったことがある人は、たくさんいるのではないかと思います。

一つ目の「楽しさ」も必要だと思いますが、先生は、みなさんには、ぜひ二つ目の「本気でがんばってできるようになった楽しさ」を、たくさん味わってほしいと思っています。

学校は、みんなで集まって、色々なことが学べる大切な場所です。国語や算数などの勉強、行事、委員会の活動や外遊びなどから、みなさんは毎日毎日、色々なことを学んで大きく成長しています。

色々なことに「本気で」、進んで、前向きにチャレンジして、みんなが心から「楽しい」と思える学校生活、令和4年度になることを願っています。

以上で、お話を終わります。

最後に、相田みつをさんの「本気」という詩を贈ります。

【何でもいいからさ 本気でやってごらん 本気でやれば たのしいから

本気でやれば つかれないから つかれても つかれがさわやかだから】